

国立国際美術館 ミュージアムコンサート&特別鑑賞会

司 会：藤岡 幸夫（関西フィル首席指揮者）

〈〈 プログラム 〉〉

♪シューベルト：弦楽四重奏曲 第14番 二短調 D.810「死と乙女」より
第1楽章、第2楽章

Franz Schubert: String Quartet No. 14 in D Minor, D. 810, "Death and the Maiden"

♪ボロディン：弦楽四重奏曲 第2番 二長調 より
第3楽章「ノクターン」、第4楽章

A.P.Borodin: String Quartet No. 2 in D Major

～ Profile ～

藤岡 幸夫（ふじおか さちお）



©SHIN YAMAGISHI

英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。1994年「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー以降、数多くの海外オーケストラに客演。首席指揮者を務める関西フィルとは23シーズン目を迎え、その一体感あふれる演奏は常に聴衆を魅了している。テレビ、ラジオへの出演も多く、番組の立ち上げに参画し指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」（毎週土曜朝8時半）は放送8年目の人気番組。

東京シティ・フィル首席客演指揮者。東大阪市特別顧問。滋賀県長浜市文化観光大使。きょうと城陽応援大使。

オフィシャル・ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/> Twitter アカウント @sacchiyo0608

関西フィルハーモニー管弦楽団

Kansai Philharmonic Orchestra

1970年発足。2018年より公益財団法人化。関西を代表するオーケストラの一つとして文化・社会への貢献を目指して積極的に活動を続けている。2020年、楽団創立50周年を迎えた。世界的ヴァイオリニストでもあるA.デュメイが11年より楽団初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は07年より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は11年桂冠名誉指揮者に就任。2015年、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアー（合計5公演）を開催、各地で大きな注目を集めた。

BSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」に藤岡幸夫と共に出演中。

オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/> Twitter アカウント @kansaiphil

岩谷 祐之(ヴァイオリン)

4歳からヴァイオリンを始める。1993年関西フィルとサン＝サーンスのヴァイオリン協奏曲を共演。同年より東京音楽大学付属高等学校にて久保陽子氏に師事。第68回日本音楽コンクールヴァイオリン部門第1位入賞。松下賞、レウカディア賞、鷲見賞を受賞。2001年よりフランスへ留学。2003～2004年フランス国立放送響にて2ndヴァイオリン首席奏者を務め、2005年に完全帰国、兵庫芸術文化センター管弦楽団(略称HPAC)にてフォアシュペーラーを務める。

2008年より関西フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターとして活動している。平成21年度兵庫県芸術奨励賞、平成24年度咲くやこの花賞を受賞。大阪音楽大学特任教授。



©HIKAWA

赤松 由夏(ヴァイオリン)

大阪音楽大学音楽学部卒業。同大学大学院修了。

ブラームス、サン＝サーンス、モーツァルトの協奏曲をザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団と共演。1999年渡英、J・ロシュタイン氏の下で研鑽を積む。

2002年よりザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団コンサートマスターを務め、2019年より関西フィルハーモニー管弦楽団特別客演コンサートマスターを兼任。Musical4.8、大阪チェンバーオーケストラのメンバーとして室内楽の分野でも活躍中。大阪音楽大学特任准教授として後進の指導にもあたっている。



中島 悦子(ヴィオラ)

京都市立芸術大学音楽学部卒業。東京芸術大学大学院修士課程修了。

ロームミュージックファンデーション奨学生としてウィーン国立音楽大学に留学し、S・フューリンガー、J・フリーダーのもとで研鑽を積む。オーストリアシュタイヤー国際音楽祭、木曾音楽祭、別府アルゲリッチ音楽祭等々に出演。丹波の森国際音楽祭シンボルアーティスト。ソロや室内楽でも活動し、A.デュメイ、上田晴子、前橋汀子、ゲヴァントハウスカルテット、ヘンシェルカルテット等々と共演。現在、関西フィルハーモニー管弦楽団特別契約首席奏者及び、神戸市室内管弦楽団々員。大阪音楽大学講師として後進の指導にあたっている。



日野 俊介(チェロ)

京都市立芸大卒業。京都音楽協会賞受賞。

神戸室内合奏団(現・神戸市室内合奏団)、大阪センチュリー交響楽団(現・日本センチュリー交響楽団)、いずみシンフォニエッタなどを経て、現在は関西フィルハーモニーにて特別客演首席奏者として活躍する。2015年5～6月には、同楽団のヨーロッパ公演に参加した。一方、フリー奏者としても活動。関西をはじめ、地方の楽団などでも数多く客演を務める他、ソロや室内楽にも意欲的に取り組み、アフター・アワーズ・セッション他多くの団体で活発に活動する。

